

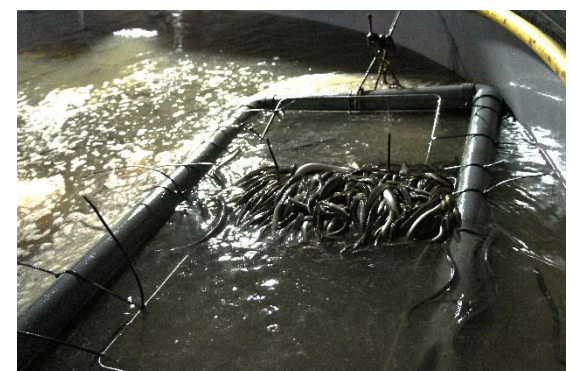
令和7年6月 16 日(月)

つしま鰻株式会社を訪問しました 令和7年度バージョン

6月16日(月)16時から、本年度最初のつしま鰻株式会社訪問を行いました。ここに高校生5名、附属中学校生27名、職員5名の総勢37名が参加しました。

最初につしま鰻株式会社の大場良太郎社長から、参加者に向けて養殖場の状況について説明していただきました。その後、養殖日数ごとに分かれたタンクを見学しました。ちょうど餌やりの時間と重なり、ウナギがエサに向かって殺到するところも見られました。これはなかなかの光景でした。

見学が終わった後、再度大場社長を囲んでウナギ養殖に関する質疑応答がありました。「鰻1匹の値段はいくらですか。」、「なぜ津島市で鰻を養殖しようと考えたのですか?」など素朴な疑問が出ました。その中で、シラスではなくクロコから鰻を育てるのは他の養殖場で大きくならなかったものを購入して育てているからだとわかりました。資源の有効活用という意味で



地球にやさしい取組だと感じました。

また見学中に、中日新聞の吉田記者から生徒たちが取材を受けました。突然にもかかわらず、みんな堂々と答えていました。



訪問の最後は、自然科学部部長の田中君が大場社長への感謝の言葉を述べて終わりました。



津島市にはとても魅力的な取組をしている方がたくさんみえます。津島高校・附属中学校はそういう方に直接お会いする機会を今後もつくってまいります。これからも本校は中学生と高校生が協働して探究的な学びをすすめていきますので、どうぞご期待ください。



津島高等学校教頭 金澤 学